



小泉八雲 朗読のしらべ

四
ツ
谷
山
？
！



セツが語つたヘルンの怪談

出演

佐野史郎（脚本・朗読）

山本恭司（音楽）

小泉凡（監修・講演）

2025
12/10(水) 開場 18:30
開演 19:00

北とぴあ つつじホール

ほく
北とぴあ



〒114-8503 北区王子 1-11-1
JR京浜東北線王子駅北口徒歩2分
東京メトロ南北線王子駅 5番出口直結

王子は東京駅からJR京浜東北線で20分。
また東京メトロ南北線で四ツ谷からも17分です。
隣接する飛鳥山には、新1万円札で話題の波沢栄一の博物館をはじめとして、ユニークな博物館が3つもあり、王子神社には縁があふれています。周辺には個性的なお店もたくさん。



主催・制作：THE MUSIC PLANT
特設サイト：www.mplant.com/yakumo
お問い合わせ：

THE MUSIC PLANT
TEL : 03-5944-6187
(平日 13:00~18:00)

留守電話には連絡先をお残しください。
こちらより折り返します。

共催：(公財) 北区文化振興財團
後援：小泉八雲記念館



小泉 八雲 (ラフカディオ・ハーン) Patrick Lafcadio Hearn

(1850-1904)



ハーンは、1850年にギリシャの小島カダ島で生まれ、幼少期を父の故郷アイルランドで過ごします。そこで触れたケルトの神話やアイルランドの民話は、のちに日本の伝承文化に興味を持つきっかけとなりました。

10歳の時、単身アメリカにあたり新聞記者としてニューオーリンズやカリブ海のマルティニーク島へ移住。文化の多様性に魅了されつつ、万博で出会った日本文化やニューヨークで読んだ漱石「古事記」などの影響で来日を決意。高松県尋常中学校で英語教師になります。

その後、各地へ移り住み、帝国大学や早稲田大学で教鞭を振ります。また著作家として、翻訳・紀行文・洋書文学を中心に『知られぬ日本の面影』『怪談』など約30の著作を遺しました。

小泉セツ (1868-1932)



士族の名家に生まれ、勉強好きで優秀だったセツは、ハーンの身の回りの世話をするために住み込みで働くようになり、それがきっかけで二人は結婚。セツは物語の活躍部として夫の再説文学創作における最高のアシスタントになります。

「私が本を見ながら話しますと「本を見る、いけません。ただあなたの話、あなたの言葉、あなたの考え方で、自分の身にしてしまつて、なければなりません」と申しますが、自分の身にしてしまつて、なければなりませんから夢にまで見るようになつて夢りました」

(小泉節子「思ひ出の記」より)

現在、松江にある小泉八雲記念館では、企画展「小泉セツ ラフカディオ・ハーンの妻として生きて」を開催しています。

<https://www.hearn-museum-matsue.jp/>



八雲ゆかりの地、ギリシャ、アイルランド、アメリカでの公演も好評を博す
二〇〇七年より観る者を圧倒してきた迫力のステージが北とぴあに登場



八雲ゆかりの地、ギリシャ、アイルランド、アメリカでの公演も好評を博す

ハーンのオープン・マインドの世界

多様性を受け入れ幅広く異文化を見つめる開かれた精神。それが八雲の「オープン・マインド」です。生涯を通じて異なる文化に寄り添い、理解を深め、多角的でフラットな視線は、八雲の作品すべてに投影されており、現代を生きる私たちが学ぶべきことが多く存在しています。

虫が大好きだった八雲

八雲の作品の中には虫や小動物が主役となる作品が多い多數あり、八雲が愛用した2つの虫籠は、現在でも松江の八雲記念館で見ることができます。「かそけきもの」の中にも「美」を見出してくれた八雲。ちなみに王子製紙の飛鳥山も、八雲の時代からそんな「虫馴き」の名所のひとつとして愛されてきました。

八雲のお墓

王子で大晦日に行われる「王子 狐の行列」には、毎年多くの参拝者が訪れます。八雲のエッセイの中にも狐は多く登場し、その民学的考察には目を見張るものがあります。また松江城山稲荷神社には1,000体以上の石の狐があり、八雲のお気に入りの散歩コースでもありました。



写真 Kochi Morsima

佐野史郎 さのしろう 脚本・朗読



俳優。島根県松江市出身。1975年、劇団「シェイクスピア・シアター」の創設メンバーとして参加。1980年、唐十郎の「状況劇場」に入団、1984年まで在籍。1986年に林海象監督『夢みるよう眠りたい』にて映画主演デビュー。1992年、TBS金曜ドラマ『ずっとあなたが好きだった』の桂田冬彦を演じ、社会現象となる。俳優業の他、音楽、写真の活動も続け、またライフワークとして「小泉八雲朗読のしらべ」をギタリストの山本恭司と共に2007年より継続中。2025年度NHK後期連続テレビ小説の「ばけばけ」では、島根県知事役をつとめる。

山本恭司 やまもと きょうじ 音楽



ミュージシャン。島根県松江市出身。15歳でギターをはじめ、18歳でヤマハ・ネム音楽院に入学。在学中にBOWWOWのリード・ギタリスト、リード・ボーカリストに抜擢される。その後、VOW WOWを結成しロンドンをベースにヨーロッパ、アメリカで約4年間活動。英国でチャートインするなど海外での評価も高く、著名アーティストへの影響力も大きい。バンド活動以外にも、各種アルバム制作、そして多くのセッション、プロデュースに至るまで、その幅広い音楽性を武器に世界の音楽シーンで活躍している。

小泉 凡 こいずみ ほん 監修・講演



八雲曾孫。東京都出身。成城大学大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践研究や、「小泉八雲のオーブン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。「2022年度全国日本学士会アカデミア賞(文化・社会部門)」を受賞。小泉八雲記念館館長・焼津小泉八雲記念館名誉館長・島根県立大学短期大学部名誉教授。

おすすめ書籍

八雲の怪談づくし
解説・監修 小泉凡
八雲会



思ひ出の記
小泉節子(セツ)
ハーベスト出版



黒い蜻蛉 小説小泉八雲
ジーン・バンスリー著 小宮由翻訳
校成出版社



ご協力いただいている近所の本屋さん

北区の3書店(王子、赤羽)にて関連書籍を購入の皆様に抽選で
当公演のチケットをプレゼント。詳しくは店頭まで。

青猫書房(赤羽駅徒歩10分)

ブックスページワン イトーヨーカドー赤羽店(赤羽駅前)

CROSSBOOKSサミット王子店(王子神谷駅徒歩3分)

チケット

2025年9月10日 一般発売 全指定席
チケット料金 5,000円 (北区民割引 4,500円)

* 東京都北区にお住まいの方は、割引価格で購入できます。
割引での購入はおひとり様4枚まで。
ほくチケ(要事前登録)および北とびあ一階チケット売り場のみ対応いたします。
北区在住を確認できるもの(免許証、保険証など)をご提示ください。

ほくチケ



チケットの購入方法

- 北とびあ一階チケット売り場で購入
窓口のみ 10:00~20:00 (臨時休館日は 10:00~18:00、全館休館日は休業)
- ほくチケ(ほくとびあチケットオンライン)
<https://p-ticket.jp/kitabunka>
- お電話にてご予約 THE MUSIC PLANT 03-5944-6187 (平日 13:00~18:00)
未就学児童のご入場はご遠慮ください。車椅子席をご希望の方は発売日以降
(公財)北区文化振興財團 03-5390-1221 (平日 9:00~17:00) にてご予約ください。